

燃料小売業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15～16	灯油の配達先ですべて転倒して、背中から脇腹にかけて強打した。	67	10～29
1	5～6	給油所内で給油が終わり、カードレシートを返すとき、洗車から出て来たトラックから落ちた水が凍結していて、両足をとられ転倒し、腓骨骨折および肋骨骨折を負った。	64	10～29
1	8～9	弊社事業所構内（平面アスファルト舗装）を歩行中、地面の凍結に気付かず、足を滑らせ転倒した際、右足首を骨折した。	29	10～29
1	23～24	トラック給油作業終了後、ポイント交換の為、計量機横より事務所内へ行く途中、転倒して頭部を打った。	59	1～9
2	10～11	家庭用灯油ボイラーに灯油補給中、雨天時地面（コンクリート）に生えたコケで滑り左肩部を強打し打撲を負ったものである。	58	—
2	14～15	ガスボンベの移動作業をしていた。その際、充填機材周辺のレールに右足が掛かり、滑って転倒し、左手を地面に強打し手首を捻挫した。	53	—
2	14～15	給湯器修理依頼を受け、給湯器場所に向かう途中、敷地内地面にダンボールが置いてあり、その上に乗ったら、バランスを崩し、左膝を浄化槽鉄製蓋に打ちつけ、転倒し、左膝蓋骨を骨折した。負傷後すぐに病院へ行った。通路にあった畳まれたダンボールを踏んだものであって、何かの作業を行っていたものではない。勤務上ダンボールの上に乗る必要はない。	58	10～29

3	16~17	ガソリンスタンドの隣にある歩道でお客様から預かった車のカギを持ったまま帰ったため、そのお客様をあわてて走って追いかけた。その時につまずいて勢いよく前面に転び、左足をひねり、歩行が困難になった。	31	1~ 9
3	11~12	客先構内でLPガスボンベの交換作業中、50kgボンベをトラックのパワーゲートから降ろそうとしたところ、ガスボンベが滑り、転倒しそうになった。配送員はボンベが転倒するのを防ごうとしたが、バランスを崩し尻もちをついた。その際にガスボンベが左足の上に転倒し、地面との間に挟まれるかたちとなった。当日は雨が降っており、パワーゲートの表面は滑りやすい状態であった。	57	30 ~ 49
4	17~ 18	給油所内で自分の担当する車の給油を終え、精算するためにPOSに伝票を取りに行き、伝票を持ってまた車の方へ戻っている時、POSに近い計量機で給油中の車に差し込んであるホースをまたぐ時にホースに気づかず、右足を引っ掛けて転倒した。 (ホースは地面に面している)	61	1~ 9
5	17~ 18	お客様の車へ給油中に、ガソリン計量機のホースに左側の足を引っ掛けたため、転倒し、右足膝を骨折した。給油中には、ホースを跨いで作業をすることは安全上問題が出るので禁止を指導していたが、指導を守れなかった。	52	1~ 9
5	10~ 11	ガソリンスタンドフォアコート内で停車中の車のカギを取りに行ってもらった時に、段差を踏み外し右足首を負傷した。	26	1~ 9
5	10~ 11	所内で充填作業中の社員に業務連絡をする際、プラットホーム上でLPガス容器のせるコロの上に誤って足をのせ転倒し、右大腿骨を骨折した。	55	1~ 9
6	15~ 16	最終処分場の敷地内にて、ローリーの運転席から降車した際、鉄板の地面が散水により濡れていたため、足を滑らせて転倒した。右足を捻ったため、右腓骨にひびが入った。	21	10 ~ 29
6	21~ 22	洗車場奥にある部屋に向かう途中、洗車機周りの苔により足を滑らせ、前のめりに転倒し、右肘を地面に強く打ちつけた。	30	10 ~ 29
6	15~ 16	ガソリンスタンドのピット（作業場）内で車両整備中に、脚立に足を掛けて登ろうとした際に、ピット段差部の隙間に脚立の脚が挟まり、バランスを崩し転倒した。	38	10 ~

		その際に、付近に設置されていた廃油受けに左肩を強打した。		29
6	11~ 12	ローリー荷台から足を滑らせ転倒し、左肩を負傷したものである。	40	10 ~ 29
7	13~14	給油所建物裏の土地の除草をするために、エンジン付噴霧器を背負い除草剤を散布中に、草丈が長かったためつまずいて転んだ。その先にあった物体に左膝をぶつけ負傷した。ぶつけた物体について後日確認したが、わからなかった。	69	1~ 9
7	11~12	貯水槽タンク水量確認中、蜂に襲われはしごから2m程落下、左かかと粉碎骨折。	55	10 ~ 29
7	11~ 12	ガス代集金のため顧客先を訪問中、玄関先でチャイムを押そうとしたとき、足をぬかるみに取られ転倒し、骨折した。	45	1~ 9
7	15~ 16	ガソリン給油中、給油作業の移動の際、ホースを跨ぐときに足が引っかかり転倒し、その際に左膝を地面（コンクリート）に強打し負傷した。	68	1~ 9
9	9~ 10	当社においてコンプレッサータンク内の水抜き作業で出た水を洗車機場に捨てに行った際、洗車機横で足を滑らせ洗車機レールに転倒し腰と頭を強打。頭部から出血、腰の痛みのため動けなくなり1時間ほど様子を見ていたがよくなるため救急車により搬送された。	42	50 ~ 99
9	16~ 17	店内において洗車終了のお客様の車を移動させる為、駆け寄った際に濡れていた地面で足を滑らせ転倒、頭部と首を強く打ちつけた。自力では動けず、救急車にて搬送された。	41	10 ~ 29
9	23~ 24	閉店後、洗車機の支払機に精算レシートを取りに行った。その際、支払機後方にある車止めにつまずき転倒。近くにあった手洗場のコンクリに胸とヒザを強打した。	55	10 ~ 29
9	7~8	ガソリンスタンド内の清掃を終え、トイレから出てきたところ、虫が飛んできたため、その虫を手で払って避けようとした際、バランスを崩し転倒し、左後頭部を地面に打ちつけ負傷した。	72	10 ~ 29

9	17～ 18	勤務中トラックの来店に気付き誘導に向かう際、段差につまずき体勢が悪く肩から転倒した。	51	10 ～ 29
10	12～ 13	ピットにてオイル交換中、エンジンルームの点検で掘り下げに設置している渡り板上を通過した際に足を踏み外して転倒。ビットレールに左脇腹を強打した。	52	10 ～ 29
10	13～ 14	お客様宅訪問の際に玄関前付近にて、雨で滑りやすい状態であった場所で足を滑らせ転倒、その際左足を骨折してしまった。	56	1～ 9
10	8～9	解体現場において、石油燃料を重機に給油する作業を行っていた。現場が狭く給油作業をするために、50cm程度のフェンスをまたいで給油していた。給油作業を終え戻ろうとフェンスを越えたところで足元を滑らせ転倒した。前日の雨で足元が滑りやすい状態で、不安定な体勢で作業をしていたのが原因である。	38	1～ 9
10	21～ 22	給油所2階の更衣室で制服に着替えて階段を降り、最後の段を踏み外してしまい、バランスを崩して右足首を捻った。	44	10 ～ 29
10	12～ 13	リサイクルセンター構内において、ミニローリー車から重機等に給油する作業中に、次の重機に給油を行うため歩いていたところ、側溝に足がはまり転倒した際、足を捻り右足足根骨を骨折した。	55	1～ 9
10	15～ 16	お客様の敷地内でガスボンベを配達中、車の荷台で足を踏み外し滑って下に落ち、倒れた時に手をつき手首を怪我した。	66	1～ 9
11	15～ 16	整備工場から事務所（本社）に車で書類を届けに来た時、事務所駐車場に車をとめて、事務所玄関に歩いて向かう途中で雪山（凍った路面）に足を滑らせ転倒し、左上腕を強打して骨折した。	52	30 ～ 49
11	17～ 18	ガソリンスタンド内の給油場所において、車両停止用の白線の上に雪が被っていた。給油のお客様へ接客サービスをしている際、その雪を踏んで滑り、右手をついて転倒した。	57	100 ～ 299
		営業先への配達が終わる営業所の駐車場に戻り車から制服を自家用車に積み込もう		10

11	16～ 17	と自家用車に向かう為、駐車場の出入口を通らず駐車場を取り囲むフェンスを越えて行こうとし、右足から越えたがその後左足がフェンスに引っ掛かり、右側から転倒し、右膝を強く打った。	55	～ 29
11	10～ 11	給油所内の作業場（ピット）で、車のオイル交換作業中に、ピットを飛び越え損ね足を滑らせ、転倒し、胸を打ちあばら骨を骨折した。	43	1～ 9
12	9～10	給油所内で、計量機1番（レギュラーガソリン）に停車した車の対応のために、計量機3番（軽油）から、小走りで近寄った際に、計量機2番付近で転倒した。	28	1～ 9
12	17～18	会社の郵便物発送のため、郵便局に入ろうとして入口に向かう途中、やや登りになっている凍結した路面で足を滑らせて転倒し、身体の左側面を地面に強く打ち負傷した。	52	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html